参考資料２

2025 年度事業実績及び 2026 年度事業計画

〔健康推進課〕

1　2025 年度事業実績

（１） 健康づくり意識の向上（基本目標１-目標２-施策１）

① 「みんなの健康だより」及び「みんなの健康だよりミニっつ」の発行

健康をキーワードにしたニュースや季節に沿ったトピック等を掲載した情報紙である「みんなの健康だより」を２回発行しました。

また、より多くの方に情報をお届けできるよう、「3 分で読める健康づくり情報をお届け」をコンセプトとしたデジタル版健康情報紙「みんなの健康だよりミニっつ」を新たに発行し、インターネット広告等を通じて周知しました。

○みんなの健康だより（紙媒体）

発行時期	2025 年 7 月 1 日、10 月 15 日
発行部数	96,000 部
配布場所	新聞折り込み、市関連施設等 600 を超える施設で配布　等

○みんなの健康だよりミニっつ（デジタルコンテンツ）

配信時期	① 2025 年 12 月 15 日～2026 年 1 月 3 日 ② 2026 年 3 月 1 日～3 月 15 日
広告クリック数	① 1,569 回 ② 1,584 回

② 健康づくり推進に関する普及啓発イベントの開催

市民が健康に関する意識を高める機会を創出するため、11 月を「総合健康づくり月間」と設定し、 11 月 1 日～11 月 30 日にかけて、関係団体等と連携したイベントを開催することで、多くの方に健康づくりを体感・学習いただきました。

日程	2025 年 11 月 1 日～30 日
実施場所	市内各場所及びオンライン開催
参加者数	会場参加：6,374 人　動画閲覧数：992 回
参加団体数	関係団体 17 団体、庁内 3 部 5 課

③ 熱中症対策の推進

環境政策所管部署と協力し、市の関連部署で組織する熱中症対策推進部会の開催を通じて、全庁的な推進体制を構築するとともに、関係団体及び民間企業等と連携した普及啓発等を行いました。

また、市のクーリングシェルター登録施設について、東京都が推進する外出時の暑さを避けるための一時的な休憩場所である TOKYO クールシェアスポットへの登録を行いました。

また、南多摩保健医療圏地域保健医療福祉フォーラムにおいて、FC町田ゼルビア及び花王ビオレと連携した取り組みを主とした、町田市保健所の熱中症予防対策に関する発表をした。

（２）がん、糖尿病などの非感染症疾患対策（基本目標１－目標２－施策４）

① 各種がん検診の実施

	対象年齢	種別	発送数（通）
大腸がん検診・肺がん検診	40歳以上	個別勧奨	14,657
乳がん検診・子宮頸がん検診		個別勧奨	27,457
子宮頸がん検診	20～38歳	個別勧奨	21,172
胃がんリスク検診	30歳	個別勧奨	4,049

※上記のほか、要精密検査で未受診の方への個別勧奨も実施

② がんに関する正しい知識等の普及啓発

ア　民間協定企業との連携

戸別訪問等による「がん検診の案内チラシ」配布

配付枚数：5,440枚

イ　働く世代に向けたがんの予防普及啓発

働く世代に向けた受診勧奨チラシの配付及び、データの配信

チラシ配布先	配布枚数（部）
民間協定企業	400
市内保育園幼稚園	292
町田商工会議所	4,500
イベントでの配布	300

ウ　ピンクリボン月間の普及啓発活動

乳がんの早期発見・早期治療を推進するため、シンボルマークである「ピンクリボン」を活用した普及啓発活動

・神奈中バス車内等へポスター掲示　140枚
・市庁舎ライトアップ
・ピンクリボンマイクロファイバークロス1,500個配布
・町田市医師会及びFC町田ゼルビアと連携した普及啓発
・協定締結企業のデジタルサイネージで検診受診勧奨動画放映

エ　若い世代への子宮頸がん検診啓発活動

・市内の大学に子宮頸がん検診の冊子を設置
・町田若者大大大作戦～WAKUWAKU～でブース出展

③ がん患者へのアピアランスケア支援事業

がん患者が、がんに罹患する前と変わらず、地域社会で自分らしく生活できるよう、脱毛や乳房の切除など、がん治療に伴う外見の変化にお悩みの方へ、ウィッグなどの購入等にかかる費用を助成しました。

開始年度	2023 年 7 月
申請件数	209 件
補助額	3,798,700 円
助成金額	助成対象品の購入又はレンタル費用(税込み)の 1/2 (100 円未満切り捨て)※上限 2 万円
助成回数	対象者 1 人につき 2 回まで(他区市町村で受けた助成も含む)

（３） 総合的な自殺対策の更なる推進・強化（基本目標 1 -目標 4 -施策 1 ）

① 町田市自殺対策推進委員会・町田市自殺対策推進庁内連絡会開催

ア　町田市自殺対策推進委員会を 2 回開催し、主に、近年の傾向及び市・関係団体における取組状況の共有や振り返り等を行いました。

イ　町田市自殺対策推進庁内連絡会を 2 回開催し、主に、庁内各課の情報共有や意見交換を行いました。

② 悩みの相談先の周知

ゲートキーパー手帳・悩みの相談先一覧を 17,000 部作成し、市民センターやコミュニティセンター等の公共施設や医療機関、薬局等の関係機関の施設などで配布しました。

③ ゲートキーパー養成講座の実施

以下のとおり、対象者別ゲートキーパー養成講座を実施しました。

日程	対象	参加者数(人)
7 月 30 日	学校関係者向けゲートキーパー養成講座	110
9 月 26 日	市民向けゲートキーパー養成講座（オンライン）	29
9 月 29 日	地域ネットワーク向けゲートキーパー養成講座	18
12 月 2 日	学校関係者向けゲートキーパー養成講座（オンライン）	23
2 月 2 日 ～20 日	市職員向けゲートキーパー養成講座 ※Microsoft Forms を活用した設問形式で実施	2,008
1 月 27 日	学校関係者向けゲートキーパー養成講座（オンライン）	60
3 月 16 日	専門職向け兼フォローアップゲートキーパー養成講座	7
3 月 25 日	専門職向け兼フォローアップゲートキーパー養成講座	6
合計		2,261

④ ゲートキーパーの周知

みんなの健康だよりや市ホームページなどでの周知のほか、町田デザイン＆建築専門学校にポスター作成を依頼し、ゲートキーパーの認知度を高める取り組みを行いました。

⑤ 自殺対策普及啓発キャンペーン

2025 年 9 月と 2026 年 3 月に、市内各駅、バス、医療機関、薬局、町内会・自治会掲示板、公共施設等に、ポスター・クリアファイルを設置・掲示し、重点的に普及啓発を行いました。

⑥ 総合相談会の実施

こころ、家族・女性、法律、労働、生活困窮、求職、高齢者の各分野の相談ブースを設け、相談対応を行いました。

2025 年 9 月 1 日 ：9 組 10 人、相談件数：14 件

2026 年 3 月 23 日：15 組 16 人、相談件数：23 件

⑦ SNS 自殺防止相談事業

主に若年層向けの自殺対策とした SNS 自殺防止相談事業を通年で実施し、117 名の相談対応を行いました。

⑧ 自死遺族への支援

自死遺族の集い「わかちあいの会『まちだ』ゆっくりカフェ」のチラシを医療機関や薬局、公共施設等に設置し、活動の周知を行いました。

＜事業総括（2026 年度に向けての課題や目標など）＞

【健康づくり意識の向上】（基本目標１-目標２-施策１）

・2025 年度に実施した多様な主体との連携やデジタル技術の活用等を踏まえ、2026 年度以降は、社会状況やライフスタイルの変化を踏まえた効率的・効果的な周知を行うとともに、ターゲット目線での情報発信を図ることとで、必要な情報を必要な方に届けられる普及啓発に努めていきます。

【がん、糖尿病などの非感染症疾患対策】（基本目標１－目標２－施策４）

・がん検診の案内やチラシの配布等を通じ、がん予防や健康への意識を高め、検診の受診につなげていきます。また、精密検査受診の有無や精密検査結果を正確に把握し、より精度の高い検診の実施につなげることで、がんの早期の発見・治療につなげていきます。

【総合的な自殺対策の更なる推進・強化】（基本目標１-目標４-施策１）

・2025 年の町田市の人口 10 万人あたり自殺死亡率は、全国の 15.3、東京都の 15.2 と比較し低い 14.6 となりました。一方、全国的な傾向として、小中高生の自殺死亡者数が増加している状況を踏まえ、子どもの自殺対策の推進・強化を図る必要があります。

2　2026 年度事業計画及び進捗状況

（１） 健康づくり意識の向上（基本目標１-目標２-施策１）

① 「みんなの健康だより」及び「みんなの健康だよりミニっつ」の発行

市民の健康づくりや公衆衛生に関する意識の向上に寄与することを目的に、健康をキーワードにしたニュースや季節に沿ったトピックなどの情報を発信します。

○みんなの健康だより（紙媒体）

発行時期	2026 年 7 月 1 日、10 月（予定）
発行部数	96,000 部
配布場所	新聞折り込み、市関連施設等 600 を超える施設で配布　等

○みんなの健康だよりミニっつ（デジタルコンテンツ）

配信時期・回数	2026 年度下半期に 2 回配信予定

② 健康づくり推進に関する普及啓発イベントの開催

市民が健康に関する意識を高める機会を創出するため、11 月を「総合健康づくり月間」と設定し、参加団体等と連携しながら、市民一人ひとりの健康づくりが推進されるよう、健康づくりを体感・学習できるイベントを開催します。

③ 熱中症対策の推進

熱中症による健康被害の防止を図るため、庁内及び関係団体、民間企業等と連携して、熱中症予防の普及啓発を行うほか、市の TOKYO クールシェアスポット（クーリングシェルター）の周知等を行っていきます。

（２） がん、糖尿病などの非感染症疾患対策（基本目標１－目標２－施策４）

① 各種がん検診の実施

	対象年齢	種別	発送月	発送数（通）
大腸がん検診・肺がん検診	40 歳以上	個別勧奨	6 月	16,000 通
乳がん検診・子宮頸がん検診		個別勧奨	4 月	35,000 通
大腸がん検診・肺がん検診 乳がん検診・子宮頸がん検診	40 歳以上	再勧奨	9 月	8,300 通
子宮頸がん検診	20～38 歳	個別勧奨	4 月	22,000 通
		再勧奨	9 月	21,000 通
胃がんリスク検診	30・40 歳	個別勧奨	7 月	4,100 通

※上記のほか、要精密検査で未受診の方への個別勧奨も実施

② がんに関する正しい知識等の普及啓発

ア　民間協定企業と連携した、がん検診の案内

イ　働く世代に向けたがん検診の受診勧奨

ウ　ピンクリボン月間の普及啓発活動　　など

③ がん患者へのアピアランスケア支援事業

	要　件
対象者	ア　申請日において町田市に住所を有する方 イ　がんと診断され、その治療を受けた又は現に受けている方 ウ　がんの治療に起因する脱毛、乳房の切除等によりアピアランスケア用品を購入又はレンタルした方 エ　他の同種の助成等の交付を受けていない方
助成対象品	・ウィッグ又は帽子 ・胸部補整具 ・エピテーゼ（補整用人工物）
助成金額	助成対象品の購入又はレンタル費用(税込み)の 1/2 (100 円未満切り捨て)　※上限 3 万円
助成回数	対象者 1 人につき 2 回まで(他区市町村で受けた助成も含む)
申請期限	助成対象品購入又はレンタル費用を支払った日の翌日から起算して 1 年以内

※都の補助制度の改正を受け、帽子やエピテーゼ等を補助対象に加えるとともに、申請制限に関する規定を削除する運用に変更します。

（３）総合的な自殺対策の更なる推進・強化（基本目標 1 -目標 4 -施策 1 ）

① 町田市自殺対策推進委員会・町田市自殺対策推進庁内連絡会開催

ア　第 1 回の推進委員会を 5 月 18 日に開催し、市の自殺対策の取り組みについて、進捗確認及び関係団体間の情報共有等を行いました。第 2 回は、11 月頃に開催を予定しています。

イ　第 1 回の庁内連絡会を 5 月 8 日に開催し、庁内各課の 2025 年度実績及び 2026 年度の実施予定内容の情報共有や意見交換を行いました。第 2 回は、10 月頃の開催を予定しています。

② 悩みの相談先の周知

ゲートキーパー手帳・悩みの相談先一覧を 17,000 部作成し、市民センターやコミュニティセンター等の公共施設や医療機関や薬局等の関係施設等で配布しました。

③ ゲートキーパー養成講座

日程	対象
7 月	学校関係者向けゲートキーパー養成講座
9 月	市民向けゲートキーパー養成講座（オンライン）
9 月	地域ネットワーク向けゲートキーパー養成講座
12 月	学校関係者向けゲートキーパー養成講座（オンライン）

1月	市職員向けゲートキーパー養成講座 ※Microsoft Formsを活用した設問形式で実施 学校関係者向けゲートキーパー養成講座（オンライン）
2月	専門職向け兼フォローアップゲートキーパー養成講座（予定）
3月	専門職向け兼フォローアップゲートキーパー養成講座（予定）

④ ゲートキーパーの周知

みんなの健康だよりや市ホームページなどでの周知のほか、町田デザイン&建築専門学校にポスター作成を依頼し、ゲートキーパーの周知を行います。また、若年層への更なる普及啓発の検討に向けた、市内の高等学校や大学へのヒアリングを行います。

⑤ 自殺対策普及啓発キャンペーン

2026年9月と2027年3月に、駅、バス、医療機関、薬局、町内会・自治会掲示板、公共施設等に、ポスター・クリアファイルを設置・掲示し、普及啓発を行います。

⑥ 総合相談会の実施

こころ、家族・女性、法律、労働、生活困窮、求職、高齢者の分野ごとの相談ブースを設け、相談対応を行います。

2026年9月7日（月）開催

2027年3月開催予定

⑦ SNS自殺防止相談事業の実施

主に若年層向けの自殺対策として、SNS自殺防止相談事業を通年で実施しています。

⑧ 自死遺族への支援

自死遺族の集い「わかちあいの会『まちだ』ゆっくりカフェ」のチラシを市内各所に配布し、活動の周知をしています。